

第4回「救急医療の今後のあり方に関する検討会」 議事次第

日時 平成20年4月30日(水)

14:00～16:30

場所 経済産業省別館(10F)

○ 開 会

○ 報 告

- ・ 救命救急センターの新しい充実段階評価(案)について
- ・ 消防庁調査「救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査」について

○ 議 事

1. 今後の救命救急センターの整備について

○ 救急医療機関の出口の問題について

- ・ 大阪医療センター 救命救急センター長 定光先生
- ・ 日野田中病院 遠藤先生

2. 二次救急医療機関について

○ 二次救急医療機関の状況について

- ・ 加納総合病院 加納先生

○ ER型救急医療機関について

- ・ 福井医科大学 救急部 寺澤先生
- ・ 都立墨東病院 救命救急センター長 濱邊先生

○ 閉 会

資 料

救命救急センターの新しい充実段階評価(案)について

消防庁調査「救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査」について

【資料1】第3回「救急医療の今後のあり方に関する検討会」議事概要

【資料2】検討会における議題について(メモ)

【資料3】いわゆる「出口の問題」について

【資料4】第二次救急医療機関について

【定光先生提出資料】

【遠藤先生提出資料】

【加納先生提出資料】

【寺澤先生提出資料】

【濱邊先生提出資料】

「救急医療の今後のあり方に関する検討会」

1 趣旨

救命救急センターについては、これまでに質・量ともに一定の整備がなされてきたところ。しかしながら、今後も増大する見込みの救急医療需要に対して、一層の充実を図っていく必要がある。

特に、これまでの重症外傷等への対応に加え、今後増加が懸念される脳卒中、急性心筋梗塞等の急病への対応が課題である。また依然、受入病院の決定までに長時間を要する救急車搬送事案も発生しており、これらへの対策についても考えていく必要がある。

こういった状況を踏まえ、今後の救命救急医療のあり方について検討を行う。

2 検討内容

- ・ 救命救急センターの全国的な整備のあり方
- ・ 高度救命救急センターのあり方
- ・ 救命救急センターの評価方法のあり方

3 会の位置付け等

- ・ 指導課長による検討会
- ・ 会は、原則公開
- ・ 更に専門的な調査や検討を要する場合には、必要に応じ作業部会を開く（作業部会は非公開）

4 会議のメンバー等

(別紙のとおり)

5 事務局

- ・ 医政局指導課にて行う。

6 開催スケジュール

- ・ 12月より会を数回開催し、年度内を目途にとりまとめを行う。

「救急医療の今後のあり方に関する検討会」

<メンバー>

- 石井 正三 日本医師会常任理事
- 坂本 哲也 帝京大学医学部救命救急センター教授
- 篠崎 英夫 国立保健医療科学院長
- 島崎 修次 (財)日本救急医療財団理事長 / 杏林大学救急医学教授
- 染谷 意 茨城県保健福祉部次長
- 豊田 一則 国立循環器病センター 内科脳血管部門 医長
- 野々木 宏 国立循環器病センター 心臓血管内科 部長
- 藤村 正哲 大阪府立母子保健総合医療センター 総長
- 前川 剛志 山口大学医学部長
- 松下 隆 帝京大学医学部整形外科主任教授
- 山本 保博 日本私立学校振興・共催事業団 東京臨海病院 院長

<参考人>

- 遠藤 正樹 医療法人社団 康明会 事務局長
- 加納 繁照 特定・特別医療法人 協和会 加納総合病院 院長
- 定光 大海 大阪医療センター救命救急センター長
- 寺澤 秀一 福井大学医学部附属病院 救急部長
- 濱邊 祐一 都立墨東病院 救命救急センター長

<オブザーバー>

- 溝口 達弘 総務省消防庁救急企画室

<省内関係部局>

- 雇用均等・児童家庭局 母子保健課
- 保険局 医療課